

研究課題名	腰曲がりに対する運動療法のエビデンス創出に関する研究	
研究の意義・目的	腰曲がり（脊柱後弯症）に対する運動療法に関する科学的検証がなされていません。今回、運動療法を受けておられる方々の情報を収集し、運動療法の有用性の検証を行い、腰曲がりへの運動療法の治療指針の策定の一助にしたいと考えています。なお本研究は運動療法を常日頃行っている施設に限定して行う研究であります。	
研究を行う期間	倫理委員会承認後～ 2024年3月	
研究協力をお願いしたい方（対象者）	2020年12月～2022年11月に大阪公立大学医学部附属病院の整形外科で、腰曲がり（脊柱後弯症）と診断され運動療法を受けた方が対象となります。	
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報等：【年齢、性別、身長、体重、診断名、既往歴、手術歴、薬歴、治療歴、職業、喫煙歴、病歴、単純X線画像、MRI画像、骨密度検査、アンケート、運動内容、身体機能情報（歩行速度、握力、2ステップ値、立ち上がりテスト）、医療費】	
試料・情報の他機関への提供	共同研究機関（次欄）から試料・情報の提供を受けて研究を実施します。	
この研究を行っている共同研究機関	我汝会えにわ病院	担当者 石田和宏
	秋田大学医学部附属病院	担当者 宮腰尚久
	秋田厚生医療センター	担当者 小林孝
	市立秋田総合病院	担当者 柏倉剛
	市立角館総合病院	担当者 蝦名寿仁
	市立大森病院	担当者 湯浅悠介
	城東整形外科	担当者 水谷嵩
	新潟大学医歯学総合病院	担当者 渡辺慶
	新潟リハビリテーション病院	担当者 佐藤成登志
	船橋整形外科病院	担当者 望月良輔
	東京大学医学部附属病院	担当者 松平浩
	浜松医科大学医学部附属病院	担当者 松山幸弘
	国立長寿医療研究センター	担当者 若尾典充
	大阪大学医学部附属病院	担当者 海渡貴司
	大阪公立大学医学部附属病院	担当者 寺井秀富
	辻外科リハビリテーション病院	担当者 中土保
	白庭病院	担当者 竹内雄一
	しまだ病院	担当者 大嶺俊充
	和歌山県立医科大学附属病院	担当者 長田圭司
	和歌山県立医科大学附属病院紀北分院	担当者 寺口真年
	伏虎リハビリテーション病院	担当者 中谷匡登
	浜脇整形外科病院	担当者 葉清規
	東京大学医学部附属病院	担当者 岡敬之
	慶應義塾大学大学院	担当者 後藤励

<p>試料・情報を 管理する責任 者</p>	<p>代表研究機関 日本脊椎脊髄病学会 研究責任者 山田宏</p> <p>研究事務局 大阪公立大学大学院医学研究科 整形外科学 研究責任者 寺井秀富</p>
<p>本研究の 利益相反</p>	<p>利益相反の状況については大阪公立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。</p> <p>本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。</p>
<p>研究に協力を したくない 場合</p>	<p>下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。</p>
<p>連絡先</p>	<p>大阪公立大学大学院医学研究科 整形外科学 (担当者氏名) 寺井秀富、高橋真治 電話番号：(06) 6645-3851 メールアドレス：koshimagari.ex@gmail.com</p>